

☆今月のオススメの商品☆

クロス・壁紙 専用 超鋭角で 切味抜群 !!



職専

貝印職専カッター
ロング38D-001

特徴：手に馴染むハンドル・スライダー
形状です。作業性を高めるスムーズ
なオートロックスライド機構を採用
しています。
焼き入れ金属ガイドで耐久性が
アップ！
高級感のあるマット彫金メッキ
仕上げです。

¥ 648 (税込)

お客様の声



X5L

ボッシュ コンクリート SDS プラスピット 5枚刃



お客様からのご要望で、新たに5枚刃タイプのコンクリート錐を入荷致しました。
この5枚刃はデッキプレート貫通作業や、鉄筋干渉によるチップの破損に強く、
従来品の4枚刃に比べて約2倍の長寿命を実現しているようです。
また最新のハンマードリルの能力を最大限発揮でき、実際に使って頂いたお客様
からもご好評の声も多数頂いております。当店でも5枚刃の各サイズを店頭に揃え
ておりますので、コンクリート錐でお悩みの方はぜひお越しください。

ねもかな 通信 No.87

シリーズ第二弾

根本 勉

平成30年
10月号

発行人

株根本金物

〒960-8032

福島市陣場町9-28

TEL 024-534-0962

FAX 024-531-3024

優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」は十月二十四日（水）（午後二時）
です。皆様のご参加お待ちしております。

根本三枝子



『悪がき・クソガキ』
前月号で最近、私の幼少期と比べて
いかに子供の数が少なくなったか？
を書いたつもりが、自分の思い出話にな
ってしまいました。
ついでと言つてはなんですが、もう少
しお付き合いください。

今年はかつて無いほど猛暑でした
が昭和三十五年頃も結構暑かった記憶
があります。もちろんクーラーなど、
どの家庭にもありませんでした。
皆さんの中には「記憶の方もいらっしゃ
ると思いますが、当時は街中の全家
庭まで水道が行き渡っていない所もあ
ったのかもしれません。
街中の所々に共同水栓がありました。
当然悪がきどもは「のどが渴いた！」
となると「あそこから水が飲めたら、
いいね」と言う奴が出て来るんですね。
この水栓は許可された方だけが使え
るよう蛇口のハンドルを取り外し式

シリーズ第三弾に続く…

が、蛇口の頭を石でたたいてみ
よう！」と言い出し悪がきのリーダ
ーが数分間たたくと、タラリタラリ
と水が出てくるではありませんか。
今でこそ蛇口の構造が分かりますか
ら不思議ではないのですが、僅か五
ヶ月の子供が何故そんなことを知
っていたのか今でも謎です。

この悪知恵が『悪がき・クソガキ』

と言われた理由です。
もちろん水を出す事ができても止め
方は知りませんので後は一目散に逃
げるだけです。

私も、もっともっと斬新な考え方が
できる様にいろんな経験をしながら、
より良い商品等をお客様に提案でき
るように勉強しなくっちゃ！
福島駅の新幹線ホームの待合室で
コーヒーを売つたらお客様が喜んで
くれるかな？

あれ！私は今何処にいるの？と目を凝ら
してみると、ここは「駅のホーム」え
え！駅のホーム内に喫茶店があるの！?
(今で言うティーラウンジかな？)
駅のホーム内にティーラウンジがある
なんて、なんとお洒落なんでしょう。
私は駅構内にティーラウンジがある
という概念が無かったのでとても新し
い発見でした。

良く考えてみれば今年の夏の
様な猛暑時や冬の寒い時期
の待ち時間等はお客様にとって
良いですね！

黄、子供達は月明かりの使者と考え
られており、この日に限って団子を
盗むことが許されたそうです。
子供達にお団子を盗まれることは縁
起が良く農作物が豊富になるともい
われて、盗んだお団子を食べた子供
は長者になると、七軒盗んで食べ
ると縁起が良いといわれています。
子供達は、竿のような長い棒の先に
針や針金をつけ、それを使って盗む
ので、お団子を縁側の盗みやすい場
所に置いたそうです。

メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けますと幸いです。



『寺』

平尾 和重



先日青森県弘前市の弘前城近くにある最勝院五重塔を見て参りました。この塔は弘前藩の四代藩主信政公が初代藩主為信公の津軽統一の過程で戦死した全ての人々を供養するために建造されたものです。東北地方第一の美塔とされ、最北端に位置する五重塔として有名だそうです。行った時は観光客の少ない時でじっくりと見てくる事が出来ました。弘前にはよく行くのですが弘前城ばかりに目がいってコチラは初めてでした。歴史的な物に触れる事でその時代背景や先人達の想いを学ぶ事は考えさせられる事多く、とても勉強になりますね。



『体に良い?! 悪い?!』



佐藤 信吾

7月号にて炭酸水を飲んでいるという記事を書きましたが、先日当店にお越し頂いた郡山の某会社社長様に「体に良いんですか?」と質問されました。人体への影響という事だと、逆流性食道炎、胃潰瘍などの消化管の病状にはかえって悪化されることもあるようで、そういう方には適さないようです。私の場合は、好きで飲んでいます。炭酸水を飲むことによって家でお酒を飲むことがほとんどなくなり、健康的になったと感じています。



『大きな努力で小さな成果を』

我彦 武大



タイトルは最近感銘を受けた言葉です。

タイトルを見て逆じゃないのか、「小さな努力で大きな成果」じゃないと効率が悪くビジネスでは通用しないのではと感じる方が多いと思います。しかしタイトルの言葉を信条にしている方がいます。それはイエローハットの創業者 鍵山秀三郎氏です。

大きな努力で小さな成果は、心が安定し気持ちがおだやかになります。

見返りがなければ取り組まないという人が増えており、「いくら学歴があっても、心や手足を使わない人の頭は悪くなります。打算的で自己中心のことばかり考えるからです。」と鍵山氏は言っています。

こんなにいい言葉があるとは知らなかったので、もっと早くに知ればよかったです。



「トヨタ現場のオヤジたち」を読んで 野地秩嘉著

平尾 和重



トヨタの副社長の一人である河合満氏は15歳で入社し、学歴上では中卒だが、叩き上げでそこからトヨタの副社長になったという異色の経歴の持ち主。

本書は河合氏へのインタビューという形式で河合氏が入社してからここまで、どのような仕事をしてきたかを振り返る一代記です。話し言葉なのでわかりやすく、トヨタではどのような業務が行われるのかを詳しく知ることができます。また、他のOBの方々のお話もあり、そこからも河合氏とは違った目線でトヨタの仕事の内容を知ることができ、とても勉強になります。

「進化し続ける現場、それがトヨタの本質」という事が現場の言葉で表現されておりとても刺激を受けます。工場勤務の人でなくても職場や環境に活かすことができるものが何かしら得られるのではないかと思います。そして一番大事なのが、得られることがあったのなら実行に移す行動力です。先人たちが長い時間をかけて築き上げてきたノウハウや経験を自らの状況に落とし込むことではじめてその本を読み終えたということになるような気がいたします。私自身もまずは何事も現状で満足するのではなく、さらなる向上を目指して行動して参ります。

ちょいメッセ

佐藤 信吾



これからの季節、焼き芋屋の車を見かけることが多くなりますね。焼き芋といえばさつまいも。薩摩が名前の由来になっているのは間違いないのですが元々は中南米が原産らしく、フィリピンから中国を経由して宮古島に伝来し、琉球や九州へと広がって行ったとの事。昔はその伝来ルートにより「唐芋」、「甘藷（かんしょ）」、「琉球芋」等と呼ばれていました。今では定着してしまったさつまいも、最初は薩摩ではなかったのです。

ではなぜさつまいもという名で広まったのか？前田利右衛門という薩摩の人物が琉球から薩摩に持ち込んだのがきっかけとの事ですが、関東地方や全国に広まったのは、江戸の蘭学者、青木昆陽によって飢饉の際の米に代わる作物としてさつまいもを薩摩から持ち込み栽培に成功したのが現在の名前が普及する始まりだったようです。